

関係者のみなさまへ

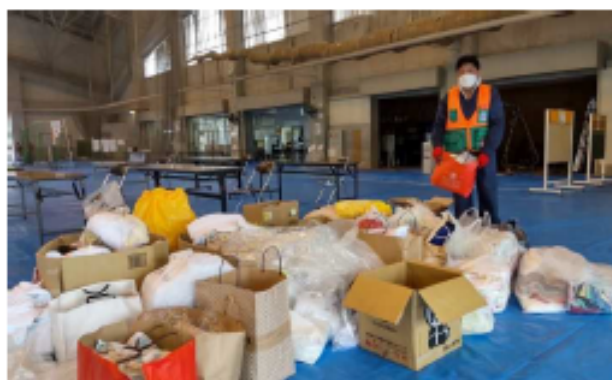
日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

災害発生から2週間 関川村災害VC支援から10日が経過しました

8月3日からの線状降水帯による豪雨で新潟県の関川村や胎内市、村上市に甚大な被害が出ております。被害に遭われた皆様に、お見舞い申し上げます。

日本防災士会・新潟県支部は、新潟県災害ボランティア調整会議(新潟県社協主催)の要請により、8月9日より関川村災害ボランティアセンターを支援して10日が経過いたしました。

- 支援人員: ボランティアセンターの支援スタッフとして毎日3名程度を新潟県支部から派遣
- 支援物資: 土嚢袋 3,000枚(日本防災士機構・日本防災士会) 400枚(新潟県支部)  
タオル・雑巾 新潟市内の自治会などから(ワゴン車1台分)



大量の雑巾とタオルを新潟市の自治会で集めて支援物資として持ち込んでくれた長濱防災士



不足していた土嚢袋が、日本防災士機構と日本防災士会から支援物資(土嚢袋3,000枚)として届く

■これまでの経過

8月4日 災害発生

8月7日 新潟県支部事務局長:成川と学校防災教育推進部長:古俣で、被災地の関川村、村上市、胎内市の防災士や防災組織を訪問し支援ニーズや現地状況の把握した。

8月8日 関川村災害ボランティアセンター稼働開始

新潟県社会福祉協議会より当会に関川村災害VCへの支援の要請

8月9日 新潟県支部防災士4名を派遣

以後、毎日新潟県支部より3名程度を派遣し、8月19日(金)で延べ30名に達しました。

新潟県報道資料 第10報(8月9日) 新潟県災害対策本部より抜粋

○関川村災害ボランティアセンター

- ・ボランティアセンター設置済
- ・県社会福祉協議会からセンターへスタッフ、コーディネーターを派遣(5日～)
- ・県内市町村社会福祉協議会からのスタッフ派遣(7日～)
- ・県災害ボランティア調整会議構成団体(日本防災士会新潟県支部)からスタッフ派遣(9日～)